

令和 2 年度 事業報告書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人...チョウタリイの会

1 事業の成果

当期は、新型コロナウイルスが世界中に蔓延したため、当法人の活動においても大きな影響を受けました。

- 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」については、タイとネパールに対して支援活動を行ないました。

1. タイにおいて、当法人では 1996 年より HIV 感染者を家族に持つ子どもたちを里子として、就学のための教育費、文具等の提供を継続的に行なっております。また子どもたちと手紙での交流やプレゼントを贈って友好を深めています。

当期におきましても、就学支援活動を行いました。

2020 年に入って COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) が世界中に蔓延し、タイにおいては、2020 年 12 月 31 日現在までは、累計感染者数が 6,884 人と比較的少ない状況でしたが、2021 年に入って感染者が急激に増加し 3 月 31 日現在では、累計の感染者数が 28,821 人となっています。

感染者数は欧米等と比べるととても少ない状況ですが、2020 年 3 月から非常事態宣言が発令されており、2021 年 3 月 31 日現在においても延長され続けています。そのためタイの経済は低下し、経済的に貧しい人々の暮らしに大きな影響を与えています。就学支援を行なっている子どもたちの家庭においても父親が仕事を失うなど大変苦しい状況となってしまう、定期的に受けていた医師の診察を受けることができず、エイズの発症を抑えるための薬の服用をすることが難しいという報告も受けています。

また、非常事態宣言下において学生等による反政府運動が起こっており、その矛先は王室批判にまで発展して大きな社会問題となっています。

コロナ禍において、航空機の離発着が禁止される期間が長かったことなどで郵便事情が大きく乱れ、里子たちからの手紙がなかなか届かないなどの問題などもありましたが、Eメールにより子どもたちとの交流をはかることができました。子どもたちからの手紙には、支援に対する感謝の言葉が述べられていて、この活動が子どもたちやその家族の心の支えになっていることがわかり、そのことが成果であるものと感じました。

当法人としては、タイにおける社会的な問題も踏まえて、次期においても里子への就学支援を引き続き行ない、子どもたちの未来が希望あるものになるように活動していきたいと思っております。

2. ネパールにおいての保健支援として、当法人ではこれまでカウンターパートのチョウタリイ・ネパール



マスクバンク発足式

(左・教育科学技術大臣ポカレル氏 右・CN 代表アガルワル氏)



子どもたちからの手紙

(CN) を通して、小児がん等を患う子どもたちへの支援、救急車購入のための支援などを行なってまいりました。

当期は、ネパールにおける保健支援活動として、医療従事者などマスクや PPE (防護衣) 等を必要とする人々にそれらを配布するためのマスクバンクプロジェクトを行ないました。

コロナ禍の中、CN 代表のフラス・アガルワル医師から、「医療体制が脆弱なネパールにおいては COVID-19 が爆発的に拡大してしまうとそれを止める術はなくなってしまう、医療従事者は、



カトマンズ医科大学に配布



献血した人に配布

常にウイルス感染の危険と向き合いながら医療を行なっている」との連絡を受け、当法人では、CN との協働事業としてマスクバンクを設立することになりました。

同事業の目的は、感染のリスクを最小限に抑え、さまざまな地域において無料でマスク等を配布することをめざしています。

当初は、日本国内においても市販のマスクや消毒液が著しく不足し、さらに、手作りのマスクを送るにも EMS などの輸送手段も完全に不通となっており、それらの物資を送ることができない状態となりました。その様な事情からマスクバンク設立の資金を CN に送り同プロジェクトを開始しました。

ネパールでは、発足に際して消毒液、グローブ、N95 マスク、外科用マスク、ヘッドカバー、フェイスシールド、靴カバーを 20 人の医療従事者に配布し、また外科用マスクを 50 人の警備員に配布しました。その後順次、警察、医師会、大学病院、診療所、歯科医などに配布し、また一般の人々にもマスク着用の重要性を説明し街頭でマスクの配布を行ないました。

この活動は、ネパール国内において、とても注目を浴び現地の複数のメディアに取り上げられました。マスクバンク発足式においては、教育科学技術大臣のギリラジ・マニ・ポカレル氏が出席し「コロナウイルスの流行の現状で設立されたマスクバンクは、日本とネパールの協働の事業として良い仕事を始めた。」と同プロジェクトを称賛しました。

COVID-19 は、現在においても終息せず、感染の拡大は未だに続っていますが、この活動を通して、医療の現場で働く人々の感染に対する不安が少しでも解消し、感染リスクが軽減できたことは、この活動の成果であるものと思います。また、一般の人々に対してもコロナ禍においてマスク着用の重要性を周知することができたものと思います。

- 「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人が 2010 年より行っている「ネパールにおける公立学校新校舎建設支援プロジェクト」が、当期においてはコロナ禍のため新たな校舎の建設を行う事ができませんでした。

当期においては、農村部の学校にデジタルツールを整備した図書館の開館の計画を現地のカウンターパートの LGN と協議し、カブレパランチョーク郡の公立学校 4 校を候補として建設の計画を行いました。

- 「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、

1. 講演活動

大阪市、豊橋市、鯖江市で当法人の活動についての講演を行ないました。多くの人々に、当法人の活動を知って頂くことができました。

2. 機関誌等の発行

当期においても、「チョウタリイ通信」及び、機関誌「チョウタリイ」を発行し、支援者や一般の人々に配布しました。「チョウタリイ通信」は主に活動報告を掲載し、機関誌「チョウタリイ」では、活動報告と共に時事問題として『「子どもの権利条約」と外国籍児の不就学問題』を NGO 豆知識として『データから見る「子どもの貧困」』と題した記事を掲載しました。機関誌等を通して読者にさまざまな問題について考えて頂く機会が作れたものと思います。

- 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「パネル展」に出展しました。

子どもたちが笑顔で学び生活するために、私たちと協力する子ども達と国際社会の発展を願います

チョウタリイ

Chautary Japan Newsletter

2020.12 Vol.12



機関誌「チョウタリイ」

また、大阪ユニセフ協会よりコロナ禍における活動の状況についてのインタビューの依頼を受け、その内容が「ユニセフ大阪通信」に掲載されました。当期は、コロナ禍のためほとんどのイベントが中止され一般の人々に対する活動報告の場が少ない結果となってしまいましたが、パネル展や他団体の機関誌に活動の状況を掲載されたことは、人々に当法人の活動を知って頂くことができたと幸いです。

- 「緊急災害支援事業」については、当期においては、5月の熊本豪雨において、ドテラ・ジャパンを通してタオルを緊急支援物資として送りました。

また、コロナ禍において、国内及び海外共にマスクが著しく不足したため、日本国内において手作りのマスクを援助物資として製作し、さらに支援者からご寄附を頂きマスクバンクプロジェクトを開始しました。

マスクは、介護施設及び一般の人々に配布し、ネパールには、カウンターパートのLGNを通じて農村部の公立学校への配布を行なうために送りました。

ネパールへの発送においては、EMS等の輸送手段が2021

年2月まで完全に不通の状態が続き3月に入ってようやく送ることが可能となりました。

引き続き、当法人では、COVID-19の対策については、災害対応として捉え、次期においてもネパールの農村部の公立学校等にLGN等を通じて配布する予定としています。



介護施設にマスクを寄贈

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額(千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10人	592
	ネパールにおいてCOVID-19対策としてマスクバンクを設立し、医療従事者等にマスク等の感染防護具を配布した。	通年	ネパール カトマンズ バルディバス ネパールガンジ	3名	当該地域の医療従事者等 多数	1,174
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて、農村部の公立学校に図書館の建設計画を行なった。	通年	ネパール カブレパランチョーク郡	3名	図書館建設 地域の子どもたち、住民、教師等	484
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	当期は実施しない					0

途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	当期は実施しない					0
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	当期は実施しない					0
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	当期は実施しない					0
機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	事業活動についての講演を行った。	12月1月	大阪市 豊橋市 鯖江市	3名	支援者 約500人	53
	機関紙「チョウタリイ通信」「チョウタリイ」を作成した。	6月12月	奈良市	2名	不特定多数	784
社会教育及び政策提言事業	当期は実施しない					0
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の「パネル展」に出展した。 大阪ユニセフ協会からインタビューを受けた。	5月1月 2月	奈良市	2名	来場者等 多数	26
災害復興協力事業	熊本豪雨において援助用物資としてドテラ・ジャパンを通じてタオルを配布した。	7月	奈良市	3名	水害被災者	22
	COVID-19対策として布マスクを製作し、またマスクの寄附を受けてマスクバンクを設立し、マスクを必要とする人々に配布した。	通年	奈良市 ネパール ラリトプル	4名	介護施設等 不特定多数	825

国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	当期は実施しない					0
--------------------------	----------	--	--	--	--	---

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	当期は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	当期は実施しない。	実施せず			0

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。